

令和7年8月7日

宮崎県日南市における保全計画に基づく活動状況等の評価
(令和7年度第1回世界農業遺産等専門家会議)

1 評価

貴地域では、地域の農業遺産の保全活動が概ね適切に行われていることが確認できたため、今後も引き続き活動を維持されたい。

2 専門家会議による助言事項

更なる保全・活用に向け、以下の助言事項を参考として今後の保全活動に取り組むことが望ましい。

- (1) 他の農業遺産地域との交流等、人と人のつながりが見られた点を評価しており、継続して取組を推進していただくとともに、「漁民の森」の取組をはじめ、かつお一本釣り漁業が林業にも支えられている関係を直売所などにも明示することで、森・山・川・海の関連性を強調されることが期待される。
- (2) 小規模な造船所が地域と密接な関係を築いている点が評価できる。小規模な造船所の維持や造船所における飫肥杉の伝統的利用について、次期保全計画に反映させてはどうか。
- (3) 農業遺産をSDGs教育及び郷土学習の教材として活用するとともに、広く市民を対象とした教育活動にも展開することにより、農業遺産に関与する人材の裾野を拡大することが望ましい。併せて、保全活動における女性の参画及び活躍を促進することが望まれる。
- (4) 地域として最終的に達成したい目標を見据えた小目標（アクションプラン）を設定すると良い。
- (5) 生物多様性に関する定期的な調査の実施等により、保全活動の影響を把握することが望まれる。

(以上)